

「学部・研究科等を代表する優れた研究業績リスト（表）」

及び

「研究業績説明書（表）」

作 成 要 領

[実績報告書作成要領抜粋（P.32—39，49，50）]

整理番号()

学部・研究科等を代表する優れた研究業績リスト (表)

法人名		学部・研究科等名	
-----	--	----------	--

1. 学部・研究科等の目的に沿った研究業績の選定の判断基準 (200 字以内)

()

2. 選定した研究業績リスト

No	研究業績名 (③)	細目番号 (④)	研究業績の分析結果		重複して選定した研究業績		共同利用等 ()
			学術的意義 ()	社会、経済、 文化的意義 ()	業績番号 (重点的に取り組 む領域) (⑦)	業績番号 (他の組織) (⑧)	
1001							
1002							
1003							
1004							
1005							
1006							
1007							
1008							
1009							
1010							
1011							

「学部・研究科等を代表する優れた研究業績リスト」（表）作成要領

研究に関する現況分析に当たっては、国立大学法人評価委員会が、各法人ごとに研究の現況分析の単位として定める組織（以下、「学部・研究科等」という。）を代表する優れた研究業績の水準を把握した上で「研究成果の状況」が関係者の期待に込んでいるかどうかを判断してください（研究水準分析項目Ⅱ「研究成果の状況」）。

各法人においては、下記の留意事項により、「学部・研究科等を代表する優れた研究業績リスト」（Ⅰ表）を作成してください。なお、「学部・研究科等を代表する優れた研究業績リスト」（Ⅰ表）の様式ファイルは、機構のウェブサイト（<http://www.niad.ac.jp>）に MS-Excel 版を用意してあります。

1. 作成に当たっての留意事項

- (1) このリストは、各法人において学部・研究科等を代表する優れた研究業績として選定した研究業績についての一覧になります。選定した研究業績については、「研究業績説明書」（Ⅱ表）を別途作成し、その内容を基にリストを作成してください。

なお、選定した研究業績が、重点的に取り組む領域に係る優れた業績として選定した業績と重複する場合は、リストへの記載のみとし、「研究業績説明書」（Ⅱ表）は必要ありません。

また、一つの研究業績が、法人内の複数の学部・研究科等において、当該組織を代表する優れた研究業績として選定された場合は、これらのうち、一つの組織で「研究業績説明書」（Ⅱ表）を作成すれば、それ以外の組織においては、リストへの記載のみで構いません。

- (2) 法人において学部・研究科等を代表する優れた研究業績の選定を行うに当たっては、以下の点に留意してください。

対象となる研究業績は、平成 16 年 4 月～平成 20 年 3 月の間に公表された研究業績のうち、当該学部・研究科等で実施された研究（大学共同利用機関や大学の全国共同利用機能を有する附置研究所及び研究施設（以下「大学共同利用機関等」という。）で実施した共同利用・共同研究を含む）の成果とします。公表されていないもの（グラブリ段階のものや、刊行予定又は採用は決定しているが未掲載のもの等）は対象としません。また、装置開発にあつては、完成された装置が対象となります。

次の要件を満たす研究業績を選定してください。^{注1)}

- i) 学部・研究科等の目的に沿った研究業績であること
- ii) 学術的意義又は社会、経済、文化的意義のいずれかにおいて、次の 5 段階の判断区分（SS、S、A、B、C）のうち上位 2 つの区分（SS 及び S）に該当する研究業績であること

区分	学術的意義	社会、経済、文化的意義
SS	当該分野において、卓越した水準にある	社会、経済、文化への貢献が卓越している
S	当該分野において、優秀な水準にある	社会、経済、文化への貢献が優秀である
A	当該分野において、良好な水準にある	社会、経済、文化への貢献が良好である
B	当該分野において、相応な水準 ^{注2)} にある	社会、経済、文化への貢献が相応である
C	上記の段階に達していない	上記の段階に達していない

注 1) 選定に際しては、第三者評価による評価結果や客観的指標等の根拠資料を基に、優れた研究業績として判断されるものを厳選してください。その際、

十分な根拠がないものを選定するなど、自己評価能力を問われることのないよう留意してください。

注2) 「相応の水準」は、当該分野の専門家が判断して標準的な水準にあることを指します。この水準を基準として、上位二つの区分（SS、S）の判断を行ってください。

選定する研究業績数は、平成19年5月1日に在籍している助教以上の専任教員数（学部と学部を基礎とする一般研究科を一体としている場合等、2つの組織を一体として現況分析の単位とする場合は、基礎となる組織の専任教員数）の50%を最大値とします。ただし、その数までリストに記載することを求めるものではありません。

大学共同利用機関等にあつては、共同利用・共同研究による成果を含めて選定してください。

2. 各欄の記入に当たっての留意事項

(1) 「整理番号」欄(①)には、次の方法により記入してください。

〇〇－△△

〇〇：法人番号

(別紙6「国立大学法人等の法人番号一覧」によります)

△△：学部・研究科等番号

(「学部・研究科等の現況調査表」の目次に記載する学部・研究科等の番号によります)

(2) 「1. 学部・研究科等の目的に沿った研究業績の選定の判断基準」欄(②)には、学部・研究科等の目的や方向性(学術面を重視、社会貢献を重視など、組織の特色)に沿った研究業績の選定に当たっての判断の基準について、200字以内で明確に記入してください。(明朝体10ポイント)なお、SS及びSに該当する研究業績であることの判断基準を記述しないようご注意ください。

(3) 「研究業績名」欄()には、「研究業績説明書」(Ⅱ表)に記載の研究業績名(論文タイトル等)を、次の順序で記入してください。

(記載する研究業績の順序)

i) 細目番号順(昇順)

ii) 「重点的に取り組む領域に係る優れた研究業績」の次に「重点的に取り組む領域」に関係しない研究業績

iii) 一つの細目番号で複数の研究業績がある場合の順序

学術的意義でSSに該当する業績

↓

学術的意義でSに該当する業績

↓

社会、経済、文化的意義でSSに該当する業績

↓

社会、経済、文化的意義でSに該当する業績

(記載例)

No	研究業績名 (③)	細目番号 (④)	研究業績の分析結果		重複して選定した研究業績		共同利用等 ()
			学術的意義 ()	社会、経済、 文化的意義 ()	業績番号(重点的 に取り組む領域) ()	業績番号 (他の組織) (⑧)	
1001	■■■■■■■■	1 0 0 1	S		XX-XX-2XXX		
1002	■■■■■■■■	1 0 0 1		SS	XX-XX-2XXX	XX-XX-1XXX	
1003	■■■■■■■■	1 0 0 1	SS				
1004	■■■■■■■■	1 0 0 1	S			XX-XX-1XXX	
1005	■■■■■■■■	1 0 0 1		SS			
1006	■■■■■■■■	1 0 0 1		S			
1007	■■■■■■■■	1 0 0 2		S	XX-XX-2XXX		
1008	■■■■■■■■	1 0 0 2	SS				
1009	■■■■■■■■	1 0 0 3	S				

(4) 「細目番号」欄 () には、「研究業績説明書」(Ⅱ表)に記載の細目番号を記入してください。

(5) 「研究業績の分析結果」欄には、「研究業績説明書」(Ⅱ表)に記載の判断結果(SS及びS)を記入してください。学術的意義を選択している場合には「()」の欄に、社会、経済、文化的意義を選択している場合には「()」の欄に記入してください。(複数選択不可)

(6) 「業績番号(重点的に取り組む領域)」欄 () には、「研究業績説明書」(Ⅳ表)の「業績番号(重点的に取り組む領域)」欄に記載の番号を記入してください(当該業績が重点的に取り組む領域に係る優れた研究業績として選定した業績と重複する場合は該当します)。

(7) 「業績番号(他の組織)」欄 () には、当該業績について、法人内の他の学部・研究科等で付された業績番号を記入してください(当該業績が、法人内の他の学部・研究科等において、当該組織を代表する優れた研究業績として選定された場合は該当します)。

(8) 「共同利用等」欄 () には、「研究業績説明書」(Ⅱ表)の「共同利用・共同研究」欄に記載がある場合に「○」を記入してください(当該業績が大学共同利用機関等で実施した共同利用・共同研究の成果である場合は該当します)。

(9) 網掛けの欄は、機構の使用欄ですので、記入しないでください。

業績番号（学部・研究科等）（ ）	
業績番号（重点的に取り組む領域）（②）	
業績番号（他の組織）（③）	

研究業績説明書（Ⅱ・Ⅳ表）（ ）

法人名（ ）		学部・研究科等名（ ）	
重点的に取り組む領域名（ ）			

共同利用・共同研究（ ）		分科名（ ）		細目番号（ ）	
--------------	--	--------	--	---------	--

1. 研究業績（氏名、論文タイトル、雑誌名、巻、ページ、掲載年等）を記載してください。（ ）	
2. 研究業績の該当区分を○で囲んでください。（ ）	
1) 論文（a. 単著 b. 共著）（ア. 原著論文 イ. 総説 ウ. アイに該当せず） 2) 著書（a. 単著 b. 共著） 3) 創作活動に基づく業績 4) 特許 5) その他	
3. 要旨を記述してください。（200字以内）（ ）	
4. 研究業績の該当する事項を選択してください。（下記の4つの枠のうち一つに○を記入してください。）	
1) 学術的意義	2) 社会、経済、文化的意義
SS：当該分野において、卓越した水準にある	SS：社会、経済、文化への貢献が卓越している
S：当該分野において、優秀な水準にある	S：社会、経済、文化への貢献が優秀である
5. 上記4において「SS」又は「S」と判断した理由を第三者による評価結果や客観的指標等の根拠を示しつつ説明してください。（500字以内）（ ）	

「研究業績説明書」(表) 作成要領

研究に関する現況分析に当たっては、国立大学法人評価委員会が、各法人ごとに研究の現況分析の単位として定める組織（以下、「学部・研究科等」という。）を代表する優れた研究業績の水準を把握した上で「研究成果の状況」が関係者の期待に込んでいるかどうかを判断してください（研究水準分析項目Ⅱ「研究成果の状況」）。

各法人においては、下記の留意事項により、「研究業績説明書」(Ⅱ表)を作成してください。なお、「研究業績説明書」(Ⅱ表)の様式ファイルは、機構のウェブサイト (<http://www.niad.ac.jp>) に一太郎版及びMS-Word版を用意してあります。

1. 作成に当たっての留意事項

- (1) この説明書は、各法人において学部・研究科等を代表する優れた研究業績として選定した研究業績について、作成するものです。

なお、選定した研究業績が、重点的に取り組む領域に係る優れた業績として選定した業績と重複する場合は、「学部・研究科等を代表する優れた研究業績リスト」(Ⅰ表)への記載のみとし、「研究業績説明書」(Ⅱ表)は必要ありません。

また、一つの研究業績が、法人内の複数の学部・研究科等において、当該組織を代表する優れた研究業績として選定された場合は、これらの複数の組織のうち、一つの組織で「研究業績説明書」(Ⅱ表)を作成すれば、それ以外の組織においては、「学部・研究科等を代表する優れた研究業績リスト」(Ⅰ表)への記載のみで構いません。

- (2) 各法人における学部・研究科等を代表する優れた研究業績の選定に当たっては、以下の点に留意することを求めています。

対象となる研究業績は、平成16年4月～平成20年3月の間に公表された研究業績のうち、当該学部・研究科等で実施された研究（大学共同利用機関や大学の全国共同利用機能を有する附置研究所及び研究施設（以下「大学共同利用機関等」という。）で実施した共同利用・共同研究を含む）の成果とします。公表されていないもの（グラブリ段階のものや、刊行予定又は採用は決定しているが未掲載のもの等）は対象としません。また、装置開発にあつては、完成された装置が対象となります。

次の要件を満たす研究業績を選定してください。^{注1)}

- i) 学部・研究科等の目的に沿った研究業績であること
- ii) 学術的意義又は社会、経済、文化的意義のいずれかにおいて、次の5段階の判断区分(SS、S、A、B、C)のうち上位2つの区分(SS及びS)に該当する研究業績であること

区分	学術的意義	社会、経済、文化的意義
SS	当該分野において、卓越した水準にある	社会、経済、文化への貢献が卓越している
S	当該分野において、優秀な水準にある	社会、経済、文化への貢献が優秀である
A	当該分野において、良好な水準にある	社会、経済、文化への貢献が良好である
B	当該分野において、相応の水準 ^{注2)} にある	社会、経済、文化への貢献が相応である
C	上記の段階に達していない	上記の段階に達していない

注1) 選定に際しては、第三者評価による評価結果や客観的指標等の根拠資料を基に、優れた研究業績として判断されるものを厳選してください。その際、十分な根拠がないものを選定するなど、自己評価能力を問われることのないよう留意してください。

注2)「相応の水準」とは、当該分野の専門家が判断して標準的な水準にあることを指します。この水準を基準として、上位二つの区分（SS、S）の判断を行ってください。

- ③ 選定する研究業績数は、平成19年5月1日に在籍している助教以上の専任教員数（学部と学部を基礎とする一般研究科を一体としている場合等、2つの組織を一体として現況分析の単位とする場合は、基礎となる組織の専任教員数）の50%を最大値とします。ただし、その数まで「学部・研究科等を代表する優れた研究業績リスト」（Ⅰ表）に記載することを求めるものではありません。
- ④ 大学共同利用機関等にあつては、共同利用・共同研究による成果を含めて選定してください。

- (3) この説明書は1業績につき1葉で作成してください。ページを増やすことはできません。

2. 各欄の記入に当たっての留意事項

- (1) 「業績番号（学部・研究科等）」欄（①）には、次の方法により記入してください。

〇〇－△△－××××

〇〇：法人番号

（別紙6「国立大学法人等の法人番号一覧」によります）

△△：学部・研究科等番号

（「学部・研究科等の現況調査表」の目次に記載する学部・研究科等の番号によります）

××××：学部・研究科等の業績の通し番号

（「学部・研究科等を代表する優れた研究業績リスト」（Ⅰ表）の「2. 選定した研究業績リスト」に記載のNo. (4桁)を記入してください）

（注）「2. 選定した研究業績リスト」の記入順序を別途指示していますので、当該リストを作成後に業績番号を記入してください。

- (2) 「業績番号（重点的に取り組む領域）」欄（②）は、記入する必要はありません。
- (3) 「業績番号（他の組織）」欄（③）には、当該業績が、法人内の他の学部・研究科等において、当該組織を代表する優れた研究業績として選定された場合に、その学部・研究科等で付した業績番号を記入してください。
- (4) 「研究業績説明書」（Ⅱ・Ⅳ表）（④）欄は、「Ⅱ」を○で囲んでください。
- (5) 「法人名」欄（⑤）及び「学部・研究科等名」欄（⑥）は、必ず記入してください。
「学部・研究科等名」欄（⑥）には、「学部・研究科等を代表する優れた研究業績リスト」（Ⅰ表）の「学部・研究科等名」に記載する組織の名称を記入してください。
- (6) 「重点的に取り組む領域名」欄（⑦）は、記入する必要はありません。

- (7) 「共同利用・共同研究」欄（ ）では、当該研究業績が大学共同利用機関等で実施した共同利用・共同研究の成果である場合に「○」を記入してください。
- (8) 「分科名」欄（ ）と「細目番号」欄（ ）には、評価を受けるにふさわしい区分として、科学研究費補助金の「分科名」と「細目番号」を記入してください（「分科名」と「細目番号」については、別紙7「平成19年度科学研究費補助金 系・分野・分科・細目表」を参照してください）。
- (9) 「1」欄（ ）では、共著である場合には共著者名も記入してください。なお、一部を省略しても構いませんが、共著者の総数が分かるよう、「他、計XX名」としてください。
- (10) 「2」欄（ ）で、「創作活動に基づく業績」は、技術装置・データベース・ソフトウェア等の開発、建築、デザイン、音楽、絵画、工芸、書道などの作品や発表の記録を含みます。また、「その他」は、スポーツの記録など1)～4)に該当しないものが対象となります。
- (11) 「3」欄（ ）は200字以内で簡潔に記入してください。（明朝体10ポイント）
- (12) 「5」欄（ ）は500字以内で記入してください。（明朝体10ポイント）また、当該研究業績で、1)学術的意義、又は、2)社会、経済、文化的意義において、特に注目すべき点があれば併せて記入してください。

平成19年度科学研究費補助金 系・分野・分科・細目表

系	分野	分科	細目名	細目番号	系	分野	分科	細目名	細目番号	
総合・新領域系	総合領域	情報学	情報学基礎	1001	人文社会系	社会科学	法学	民事法学	3406	
			ソフトウェア	1002				新領域法学	3407	
			計算機システム・ネットワーク	1003			政治学	政治学	3501	
			メディア情報学・データベース	1004				国際関係論	3502	
			知能情報学	1005			経済学	理論経済学	3601	
			知覚情報処理・知能ロボティクス	1006				経済学説・経済思想	3602	
			感性情報学・フロンティア・コンピューティング	1007				経済統計学	3603	
			情報図書館学・人文社会情報学	1008				応用経済学	3604	
			認知科学	1009				経済政策	3605	
			統計科学	1010				財政学・金融論	3606	
			生体生命情報学	1011				経済史	3607	
		神経科学	神経科学一般	1101			経営学	経営学	3701	
			神経解剖学・神経病理学	1102				商学	3702	
			神経化学・神経薬理学	1103				会計学	3703	
			神経・筋肉生理学	1104			社会学	社会学	3801	
		実験動物学	実験動物学	1201				社会福祉学	3802	
		人間医工学	医用生体工学・生体材料学	1301			心理学	社会心理学	3901	
			医用システム	1302				教育心理学	3902	
			リハビリテーション科学・福祉工学	1303				臨床心理学	3903	
		健康・スポーツ科学	身体教育学	1401				実験心理学	3904	
	スポーツ科学		1402	教育学		教育学	4001			
	応用健康科学		1403			教育社会学	4002			
	生活科学	生活科学一般	1501			教科教育学	4003			
	食生活学	1502	特別支援教育			4004				
	科学教育・教育工学	科学教育	1601	数理系科学		数学	代数学	4101		
		教育工学	1602				幾何学	4102		
		科学社会学・科学技術史	科学社会学・科学技術史				1701	数学一般(含確率論・統計数学)	4103	
								基礎解析学	4104	
	文化財科学	文化財科学	1801				大域解析学	4105		
	地理学	地理学	1901			天文学	天文学	4201		
	複合新領域	環境学	環境動態解析				2001	物理学	素粒子・原子核・宇宙線・宇宙物理	4301
			環境影響評価・環境政策			2002	物性Ⅰ		4302	
			放射線・化学物質影響科学			2003	物性Ⅱ		4303	
			環境技術・環境材料			2004	数理物理・物性基礎		4304	
		ナノ・マイクロ科学	ナノ構造科学			2101	原子・分子・量子エレクトロニクス・プラズマ		4305	
			ナノ材料・ナノバイオインテンス			2102	地球惑星科学		生物物理・化学物理	4306
			マイクロ・ナノデバイス			2103			固体地球惑星物理学	4401
		社会・安全システム科学	社会システム工学・安全システム			2201		気象・海洋物理・陸水学	4402	
			自然災害科学			2202		超高層物理学	4403	
		ゲル科学	基礎ゲル科学			2301		地質学	4404	
応用ゲル科学		2302	層位・古生物学		4405					
生物分子科学		生物分子科学	2401		岩石・鉱物・鉱床学	4406				
資源保全学		資源保全学	2501		地球宇宙化学	4407				
地域研究		地域研究	2601		プラズマ科学	4501				
ジェンダー		ジェンダー	2701	理工系	化学	基礎化学	物理化学	4601		
人文学	哲学	哲学・倫理学	2801				有機化学	4602		
		中国哲学	2802				無機化学	4603		
		印度哲学・仏教学	2803			複合化学	分析化学	4701		
		宗教学	2804				合成化学	4702		
		思想史	2805				高分子化学	4703		
美学・美術史	2806	機能物質化学	4704							
文学	日本文学	2901	環境関連化学			4705				
	ヨーロッパ語系文学	2902	生体関連化学			4706				
	各国文学・文学論	2903	材料化学			機能材料・デバイス	4801			
	言語学	言語学			3001	有機工業材料	4802			
日本語学		3002			無機工業材料	4803				
英語学		3003			高分子・繊維材料	4804				
日本語教育		3004			工学	応用物理学・工学基礎	応用物性・結晶工学	4901		
外国語教育		3005					薄膜・表面界面物性	4902		
史学	史学一般	3101					応用光学・量子光学	4903		
	日本史	3102	応用物理学一般				4904			
	東洋史	3103	工学基礎				4905			
	西洋史	3104	機械工学			機械材料・材料力学	5001			
	考古学	3105				生産工学・加工学	5002			
人文地理学	人文地理学	3201		設計工学・機械機能要素・ロボット		5003				
文化人類学	文化人類学・民俗学	3301		流体工学		5004				
社会科学	法学	基礎法学		3401		熱工学	5005			
		公法学	3402	機械力学・制御	5006					
		国際法学	3403							
		社会法学	3404							
		刑事法学	3405							

系	分野	分科	細目名	細目番号
理工系	工学	機械工学	知能機械学・機械システム	5007
		電気電子工学	電力工学・電気機器工学	5101
			電子・電気材料工学	5102
			電子デバイス・電子機器	5103
			通信・制御工学	5104
			システム工学	5105
			計測工学	5106
			制御工学	5107
		土木工学	土木材料・施工・建設マネジメント	5201
			構造工学・地震工学・維持管理工学	5202
			地盤工学	5203
			水工水理学	5204
			交通工学・国土計画	5205
			土木環境システム	5206
		建築学	建築構造・材料	5301
			建築環境・設備	5302
			都市計画・建築計画	5303
			建築史・意匠	5304
		材料工学	金属物性	5401
			無機材料・物性	5402
			複合材料・物性	5403
			構造・機能材料	5404
			材料加工・処理	5405
			金属生産工学	5406
		プロセス工学	化工物性・移動操作・単位操作	5501
			反応工学・プロセスシステム	5502
			触媒・資源化学プロセス	5503
			生物機能・バイオプロセス	5504
		総合工学	航空宇宙工学	5601
			船舶海洋工学	5602
			地球・資源システム工学	5603
			リサイクル工学	5604
			核融合学	5605
			原子力学	5606
			エネルギー学	5607
生物系	生物学	基礎生物学	遺伝・ゲノム動態	5701
			生態・環境	5702
			植物生理・分子	5703
			形態・構造	5704
			動物生理・行動	5705
			生物多様性・分類	5706
		生物科学	構造生物化学	5801
			機能生物化学	5802
			生物物理学	5803
			分子生物学	5804
			細胞生物学	5805
			発生生物学	5806
			進化生物学	5807
		人類学	人類学	5901
			生理人類学	5902
	農学	農学	育種学	6001
			作物学・雑草学	6002
			園芸学・造園学	6003
			植物病理学	6004
			応用昆虫学	6005
		農芸化学	植物栄養学・土壌学	6101
			応用微生物学	6102
			応用生物化学	6103
			生物生産化学・生物有機化学	6104
			食品科学	6105
		林学	林学・森林工学	6201
			林産科学・木質工学	6202
		水産学	水産学一般	6301
			水産化学	6302
		農業経済学	農業経済学	6401
		農業工学	農業土木学・農村計画学	6501
			農業環境工学	6502
			農業情報工学	6503
		畜産学・獣医学	畜産学・草地学	6601
			応用動物科学	6602

系	分野	分科	細目名	細目番号
生物系	農学	畜産学・獣医学	基礎獣医学・基礎畜産学	6603
			応用獣医学	6604
			臨床獣医学	6605
		境界農学	環境農学	6701
			応用分子細胞生物学	6702
	医歯薬学	薬学	化学系薬学	6801
			物理系薬学	6802
			生物系薬学	6803
			創薬化学	6804
			環境系薬学	6805
			医療系薬学	6806
		基礎医学	解剖学一般（含組織学・発生学）	6901
			生理学一般	6902
			環境生理学（含体力医学・栄養生理学）	6903
			薬理学一般	6904
			医化学一般	6905
			病態医化学	6906
			人類遺伝学	6907
			人体病理学	6908
			実験病理学	6909
			寄生虫学（含衛生動物学）	6910
			細菌学（含真菌学）	6911
			ウイルス学	6912
			免疫学	6913
		境界医学	医療社会学	7001
			応用薬理学	7002
			病態検査学	7003
		社会医学	衛生学	7101
			公衆衛生学・健康科学	7102
			法医学	7103
		内科系臨床医学	内科学一般（含心身医学）	7201
			消化器内科学	7202
			循環器内科学	7203
			呼吸器内科学	7204
			腎臓内科学	7205
			神経内科学	7206
			代謝学	7207
			内分泌学	7208
			血液内科学	7209
			膠原病・アレルギー・感染症内科学	7210
			小児科学	7211
			胎児・新生児医学	7212
			皮膚科学	7213
			精神神経科学	7214
			放射線科学	7215
		外科系臨床医学	外科学一般	7301
			消化器外科学	7302
			胸部外科学	7303
			脳神経外科学	7304
			整形外科	7305
			麻酔・蘇生学	7306
			泌尿器科学	7307
			産婦人科学	7308
			耳鼻咽喉科学	7309
			眼科学	7310
			小児外科学	7311
			形成外科学	7312
			救急医学	7313
		歯学	形態系基礎歯科学	7401
			機能系基礎歯科学	7402
			病態科学系歯学・歯科放射線学	7403
			保存治療系歯学	7404
			補綴理工系歯学	7405
			外科系歯学	7406
			矯正・小児系歯学	7407
		看護学	歯周治療系歯学	7408
			社会系歯学	7409
			基礎看護学	7501
			臨床看護学	7502
			地域・老年看護学	7503